

「諸行無常」

坂口 裕靖

「いや一万博終わっちゃいましたね」「終わっちゃったねー。結局行けなかったけど」「まあ、行けなかったイベントなんて大量にあるので、今更どうということもないですけど、行けないとなるとちょっとさみしくなるのは判官贔屓ってやつですかね」「そう... かな? まあ、行けた人は良かったって言ってるし、いいんじゃないの?」「ですかねー。まあ万博はロケーションベースだから、近くでやってたら簡単に行けたんでしょうけど、問題はやはり Windows 10 ですよ」「ん? あれ、まだ 10 使ってるの?」「さすが大企業... まあ資力があれば 11 にアップデート済みですよ、普通」「うん、そうだと思ってた」「これがなかなか、フリーランスだと気軽にアップデートするのも難しいんですよ。結構高いし」「まあそうかもね。でもほら、そういう古いマシン使ってるんだとすると、最近のやつに入れ替えるとス

レッド数とかメモリとかストレージとかでそれなりに入れ替えて良かった感を味わえるんじゃないの?」「まあ、確かにローカルの計算がそれなりに早くなるのはメリットだとは思いますが、そもそも主戦場がインターネットの先にあるサーバなんで、ローカル側の恩恵ってそんなにないんですよ」「あー、だからマシンを更新するの億劫になるのか?」「です。大部分は ssh で、時々 sftp とかでですから」「... オフィスとかは使わないの?」「使わなくはないですけど... まあ野線ワープロとしてしか使わないですから、計算リソースほとんど食わんす」「そうか。でもさ、そうすると今回のサポート終了ってさ、結構いやらしく感じるわけ?」「まあそーですねー。そりゃまソフトでおまんま頂いてるわけですから、サポートしきれなくなる状況ってのは当然理解できますし、サポートやめたくなる気持ち

は大変よくわかります」「そうなの?」「そうですね。それが Windows であるなら、なおさらでしょう」「そうかな?」「そうですね。だからまあ、ビジネス的な判断としてサポートやめるっていうのは頭で分かってますけど、この手が足が、俺の体が拒否反応を起こしやがるんです」「... 随分ややこしいカラダだね」「まあそもそも、10 年サポートっていうのがあんまり現実的じゃなくなってきたというのも大きいんでしょうね」「あー... たしかに CentOS もサポートしきれなくなっちゃったし、その意味で Windows は頑張ってる方じゃないの?」「そりゃ最大の機能が互換性ですから。IE 捨てるのでさえ、あれだけすったもんだするんですから当然でしょう」「あったね、IE... 世の中微妙に変わっていくから、過去の資産を改造して追従しようとするの大変なんだろうね」「だと思えますよ。今どき 32bit

One Point BUZZ WORD

R 世代

洗濯機の方は、ほぼ同じ仕様の後継機（従来の型番が M 系列だったのに対し、交換してくれた個体の型番は R 系列でした。取説を検索してみると M、N、P、R 系列があるみたいなので、3 世代後ということかしら?）と交換され、無事洗濯乾燥できるようになりました。というか、この個体だとちゃんと乾燥できるじゃないですか。ということは、壊れた個体はそもそも乾燥機能に問題があって壊れていた、ということだったんだと思います。というかですね、洗剤注入するサイフォン周りもうまく動いてなかったし、あれ少なくとも欠陥個体だったんじゃないかな。そういう気が付かない、出来の悪い、悪意ある製品を平気で売りつけるメーカーだと決めてかかっておりました態度、メーカーの方々におかれましては大変失礼いたしました。平身低頭。だってさ、今まで使ったことないメーカーだからどういう動作するかわから

ないし、何が乾燥の正解なのかわからなかったから、乾かないのがデフォルトな設計思想だと思ったんですよ... しかも販売店に「濡れてないぐらいに湿った程度にしか乾燥できない」と言ったら、「まあそんなもんですねー」とってかえされたんだもん... そしたら強く言えないですよ。それが交換後に洗濯・乾燥コースをやってみたら、きちんとふわふわの出来具合でこれぞ乾燥、ああこれこれ、求めてたのは、って感じ。まあ時間あわせて乾燥終わらすのが難しいから、現地確認もね... 今まで乾燥側のフィルタには驚くほど全く繊維くずがたまらなかったのですが、交換後は乾燥運転後、きちんとそれなりの量の繊維くずがたまります。また、排水フィルタの方も驚くほど大量の繊維くずが溜まっており、こうじゃねえとな、とほくそ笑む毎日です。もちろん液体洗剤のサイフォンもきちんと吸い上げており、今までみたいに洗剤がまるまる残ってて何一つ洗えてないという事態は起こっていません。少なくとも現状は。



な OS をちゃんとメンテしろとか言われたらたまりませんもん」「一方でさ、iOS とかどうなの?」「あれはなんというか、基本的にハードウェアをどんどん変えていって、それに合わせて OS の方も変化させて行ってますからね。過去にとらわれないというか、過去を積極的に切り捨てるといえるか」「同じハードを長期間使おうとすると無理が出てくるね」「まあでも、そもそも基本的に古いハードは使うな、サポートできる自信はねえぞ、っていう思想なんで、その意味では 5 年程度サポートしますっていうのは良心的だし、ある意味、正直とも言えますね」「そういうもんかねー」

「ま、だいたい未来のことは誰にもわからないので、どういう機能がいつ必要になるか、それが長期間流行するのは、事前に計画できないじゃないですか。なので、完全な互換性を維持するのは難しいんだと思いますよ」「でもさ、そうした OS の影響ってうけないの?」「あんまり影響ないですねー。というのは、そもそもこちらは OS より 2 レイヤー上の階層でやってるので」「上の階層?」「OS の機能をガンガン取り入れるようなのは、OS の API 変更をまともに食らうから大変だと思います。で、OS の上で動いてるスクリプトとかになると、その大変なところは言語ランタイム側でなんとかしてくれるんで、スクリプトの方から見るとほとんど影響ないわけです」「ふーん」「さらにブラウザの上で動いているコンテンツの場合、もうひとつレイヤー挟むんでさらに影響受けづらいですね」「ああ、ブラウザねー」「そうです。今までみたいに OS で動くアプリを作ったら影響大きいでしょうけど、そちらもスクリプト環境化が進みますから、以前よりは緩和されてると思います」「そんなもんなんだねー」「なんで、スクリプトをメインに開発してる場合、ほ

とんど影響ないですね。一方で、言語自体が積極的に陳腐化を進めてるような場合は、OS の問題よりも言語機能が変化する問題の方が大きかったりします。これ、ブラウザとかにも言えますけどね」「ふーん」「なんで、影響を受ける元としては OS 自体、開発言語の仕様変更、表示環境の仕様変更って感じでしょうか。ウェブ関係だとブラウザ周りはいよいよ仕様が落ち着いてきたので、開発言語の仕様変更が微妙に効いてる感じですかね」「そんなもんかね」「いや実際、ここ数十年同じ環境でやってますけど、さほど困ってないです」「じゃ、あれか。ハードウェアの進歩とかの恩恵は受けつつも、変化による影響は受けなくなってる」と」「そうですね。そのかわりといっちゃなんですが、最新の OS が提供する機能を使いこなせないですけど」「そりゃ大問題じゃないの?」「そうでもないです。サポートが継続してる機能って、要するに昔も今も使える機能ってことじゃないですか。そこに新しい機能が割って入る隙間はないわけです」「ああ、まあサポートっていう意味ではそうだね」「タッチパネルとかが良い例だと思うんですけど、今どきのタッチパネルってマルチタッチ対応じゃないですか」「そうだねー、iOS で一気に普及したからねー」「ですけど、当然シングルタッチにも対応してるわけですよ。そして、昔のコンテンツはシングルタッチ前提なわけですから、マウスエミュレーションとして問題なく使えるわけです」「まあそうなるよね」「一方で、せっかく使えるマルチタッチ機能をコンテンツに取り込もうとすると、これが色々ややこしいことになります。少なくともスクリプト実行環境の方でマルチタッチ機能を使える必要がありますし、コンテンツの方もマルチタッチ対応に書き換えないといけません」「そうだね」「ところがここに落

とし穴があって、マルチタッチ対応のスクリプトにするためには、多分スクリプトの実行環境を更新する必要があります、そうすると過去のスクリプトが言語仕様の変更で動かなくなったりしちゃうんですねー」「ほう...」「そうすると、機能を追加するまえに、コンテンツを移植する必要がでてくるんですね。そうすると、ゼロスタートで新規環境で開発したほうが早かったり。一方で、新規開発すると想定も認識もしてなかった機能とか仕様とかは、当然ながら新しい方で実装されることもないわけで、するとユーザーさんの不興を買ったりして」「あー、なんかわかる気がする... ユーザー体験って意外とそういうのと親和性高いもんね」「です。だから、古いコンテンツをそのまま動かすのは比較的楽なんですけど、それに機能を追加しようすると途端に色々問題が噴出するんですね、これが...」「なるほどねー。じゃあさ、今回の Win10 サポート終了で、win11 に乗り換えるわけ?」「無償の延長サポートとか出てますが、まあ更新しないといけなんでしょうね。そうすると、今使ってるマシンも当然使えなくなるわけで、全く別のマシンに馴染み直す必要がでてくるのが面倒っす」「... そんなに大変?」「いやだって、何インストールしてたかなんて、覚えてないじゃないですか」「えっ」「場当たり的に対処するから時間かかるんすよ」「カンキョウコウチクメモットコーヨー」

Hiroyasu Sakaguchi
フリー IT エンジニア